

ようじえんだより 2017年度1月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

1月主題『まもられて』

主題聖句：「見よ、わたしはあなたと共にいる」 創世記28章15節

☆ 0～2歳児：神さまを身近に感じる。友だちと一緒に遊ぶことが楽しくなる。伝承遊びに触れる。

☆ 3～5歳児：神さまが守り導いてくださることを知る。繰り返し取り組むことで、原因を見つけたり、コツをつかんだりする。健康に過ごすための生活習慣を身につける。

力で他人は変えられない

私の座右の銘は「他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる」です。たとえわが子であっても親の思い通りには絶対に育ってくれません。しかし親としてはわが子のあまりの姿に「いい加減にきなさい！」とブチ切れたことが皆さんおありではないでしょうか（私もあります）。

わが子を叱る時、怒りをぶつけるような叱り方は、即効性はあるのですが、効果の浸透は疑問があります。「怖いから」「怒られるから」という意識が強くなると、好奇心ややる気からいろいろなことができるようになって自信を持つようになる幼児期特有の成長の好循環が、断たれてしまうように感じます。怒りをぶつけるような叱り方が続くと、隠したり嘘をついたりするような姿も見られたりします。だから怒りをそのままぶつける叱り方は、あまりおすすめできません。むしろ、冷静に、目を見て、若干低めのトーンで、何がいけなかったかを“伝える”という感覚で叱るほうが、子どもには伝わっていくように感じます。しかしその冷静さが、わが子に対しては失われ

てしまいがちなのが、親の悲しいサガでもあります…(^_^;)。

愛と時が人を成長させる

きれいごとのように聞こえるかもしれませんが、子どもが育つには、叱られるよりも、守られ大切にされるほうがはるかに重要です（もちろん叱られるべき時に、叱られないこともまた不幸なことですが）。今月の主題聖句の言葉は、ヤコブという人物に向けて神様が語られた言葉です。ヤコブは父や兄をだまして神様からの祝福（家督相続の権利）を奪って、結果としてそこにはいられなくなり、母親の実家に避難します。その時に、神様が語りかけた言葉です。自業自得なのに甘すぎる言葉に思えます。ところが母の実家は風習や文化も違う慣れない場所で、ヤコブ自身もだまされたり、様々な人間関係に悩まされます。しかし結果として、神様のお守りの中で、ヤコブは悔い改め、成長したのです。

「神様が共にいる」生き方とは自分の思い通りになる（する）ことではありません。逆境もありつつ、守られたことに感謝する生き方です。 園長：久保田愛策

年間主題『愛されて育つ』

主題聖句：あなたがたは神に愛されている子どもです
新約聖書 エフェソの信徒への手紙 5章1節